令和８年度第１回沖縄県固定資産評価審議会　議事概要

１　開催日時：令和８年 11 月 13 日（金）14 時 00 分～15 時 15 分

２　開催場所：沖縄県庁６階第１特別会議室

３　出席委員：濱元 毅会長、下地 香代子委員、島袋 伊津子委員、友利 果苗委員、
中島 親寛委員、宮平 司委員、崎 洋一委員、田口 実委員、
大嶺 祥史委員、渡慶次 修委員、宮城 直人委員（11 名中 11 名出席）

４　議題
令和９年度固定資産（土地）に係る基準地価格（案）について

５　議事概要
ア　審議結果
議案について、事務局から指定市町村以外の市町村の土地に係る令和９年度基準地価格について説明を行い、審議の上、原案どおり承認し答申することが決定された。

イ　主な質疑等は次のとおり

（委員）
うるま市の宅地の基準地価格は、名護市や恩納村などの他市町村と比較して低いのではないか。価格の均衡はとれているのか。

（事務局）
名護市や恩納村などは、コロナ禍以降に観光需要の影響で地価の上昇率が高くなっていると考えられる。

（会長）
宅地の鑑定評価については、関係者間でブロック会議等を通して均衡を図ってきている。

（委員）
宜野座村は人口増加率が高く、基準地価格の増減率（20.8%増）が高い水準にあるものの、価格自体は国頭村や今帰仁村とほぼ同水準であり、これまでの価格水準とのバランスが気になる。

（事務局）
宜野座村は県内及び県外からのリゾート関連の不動産需要があり、価格が伸びていると考えられる。

（会長）
　宜野座村は人口増加や各種施設の立地など勢いがあり、県の地価調査でも変動率は上位となっている。

（委員）
　西原町は、てだこ浦西駅周辺の開発や西原幸地インターチェンジの整備が進められている影響もあり、基準宅地の上昇率で県内３位となっている。

（委員）
　山林の基準地価格の変動は今回なかったということだがその理由は。

（事務局）
　山林については取引事例自体が少なく、明確な変動要因が見当たらない状況にあると考えられる。なお、全国的にも田、畑、山林の基準地価格はほとんど変動していない。

６　会議の公開・非公開の別
　非公開
（理由：沖縄県情報公開条例第７条第６号に掲げる不開示情報に該当すると認められる事項等について審議等を行うため。）

令和８年 11 月 25 日
企画部市町村課